

2026 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 E M シ ス テ ム ズ
 (登記上の商号 株式会社イーエムシステムズ)
 代表者名 代表取締役社長執行役員 國光 宏昌
 (コード番号 4820 東証プライム)
 問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 小林 大悟
 (TEL 06-6397-1888)

2026 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想の再修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期中間連結業績予想について、本年 5 月 14 日に修正を行いました。その後の業績推移を勘案し、下記のとおり再修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2026 年 12 月期中間連結業績予想の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A) (2026年5月14日公表)	百万円 10,273	百万円 447	百万円 791	百万円 344	円 銭 4.97
今回修正予想 (B)	10,411	879	1,285	646	9.34
増 減 額 (B - A)	138	432	494	302	—
増 減 率 (%)	1.3	96.6	62.5	87.8	—
(ご参考) 前期実績 中間連結累計期間	12,149	2,080	2,400	1,603	23.18

(2) 修正の理由

当社は、本年 5 月 14 日に公表いたしました第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想において、厚生行政関連需要の剥落を織り込み、慎重な業績見通しへと修正を行いました。しかしながら、本年 5 月より自社のお客様への営業活動を強化するため、当社調剤セグメントの組織体制を見直し、全社横断の選抜メンバーによる専門活動体制を構築して早急なりカバリを図ったことに伴い、厚生行政関連オプションソフトの導入設置の獲得に繋がりました。一方で、サプライチェーン停滞の影響等を受け、一部ハードウェア関連の売上が想定を下回りました。

以上の結果、売上高は前回予想比で微増にとどまったものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に

帰属する中間純利益の各段階利益が前回公表の予想を大幅に上回る見込みとなったため、業績予想を再修正いたします。

通期の連結業績予想につきましては、厚生行政関連需要の今後の獲得に関しては依然として不透明さがあり、慎重に精査している最中であることから、現時点では前回発表予想を据え置いております。今後、事業環境の変化や精査の結果により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 配当予想について

2026 年 12 月期の配当予想につきましては、通期の連結業績予想が精査中であることから、現時点で中間・期末ともに 2026 年 5 月 14 日の公表内容から変更はありません。なお、当社は「新中期経営計画」において掲げている株主還元方針（配当性向 100%）を維持しており、本方針に変更はありません。中期の業績予想は上方修正となるものの、利益還元の基準となる配当額の算定にあたっては、通期の業績動向を勘案し、通期実績に基づいて本方針を反映させる予定であります。

（注）上記の予想数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上